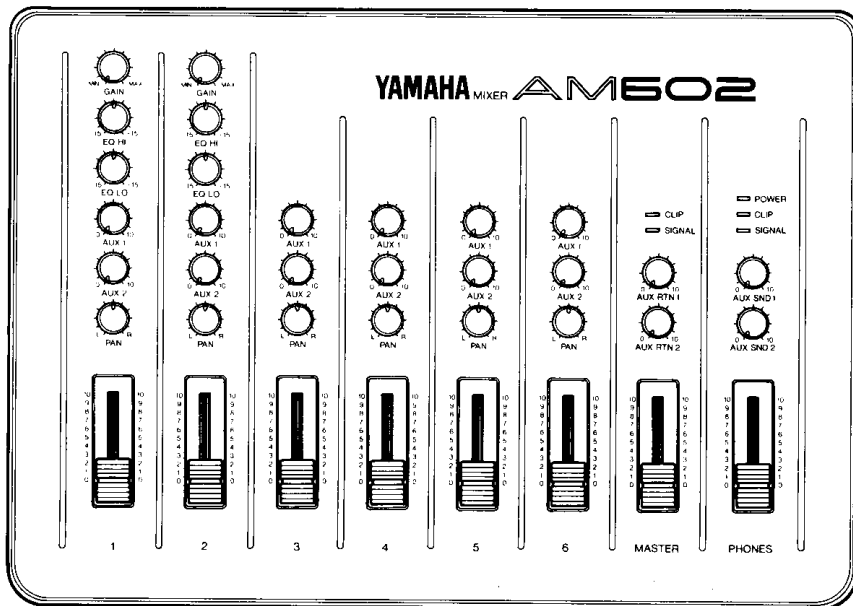


# YAMAHA

## MIXER

# AM602

### 取扱説明書



このたびは、YAMAHA ミキサーAM602をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

AM602の性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

## 特 長

- 6チャンネルのインプットソースをミキシングし、ステレオ出力で取り出せる手軽なポータブルミキサーです。
- 独立したコントロールを持つ2系統のAUXセンド/リターン(ステレオ)回路を備えており、さまざまな用途に対応できます。
- インプット1,2チャンネルには、ゲインコントロールを装備。マイク入力から電子楽器などのライン入力まで、広範囲な入力レベルに対応できます。さらに、高域、低域に分かれたイコライザーを装備しており、きめ細かな音質補正が可能です。
- ステレオマスターへの信号をL, Rに振り分けるパンポットを装備。各チャンネル毎に楽器の定位を自由にコントロールできます。
- SUB IN/OUT回路を装備しており、もう一台のAM602を接続すると、12チャンネルミキサーとして使用できます。
- ミキシング出力は、ステレオヘッドフォンでモニターできます。

## 目 次

ご使用前に.....	2
各部の名称と機能	
コントロールパネル.....	3
リアパネル.....	5
接続のしかた.....	6
仕様.....	7
ブロックダイアグラム.....	8
レベルダイアグラム.....	9
寸法図.....	9
サービスについて.....	10

# ご使用の前に

## 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。

## 無理な力を加えない

スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。

## 電源コードを大切に

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。外出などで長時間ご使用にならないときは、電源コードのプラグをコンセントからはずしてください。

◎本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。100V以外<例えば200V>の電源には絶対に接続しないでください。

## セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。

## 接続について

接続は、各機器の電源スイッチをOFFにしてから行なうか、または各ボリュームを絞ってから行なってください。

## ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造したりしないようにしてください。

## 外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

## 落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

## 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

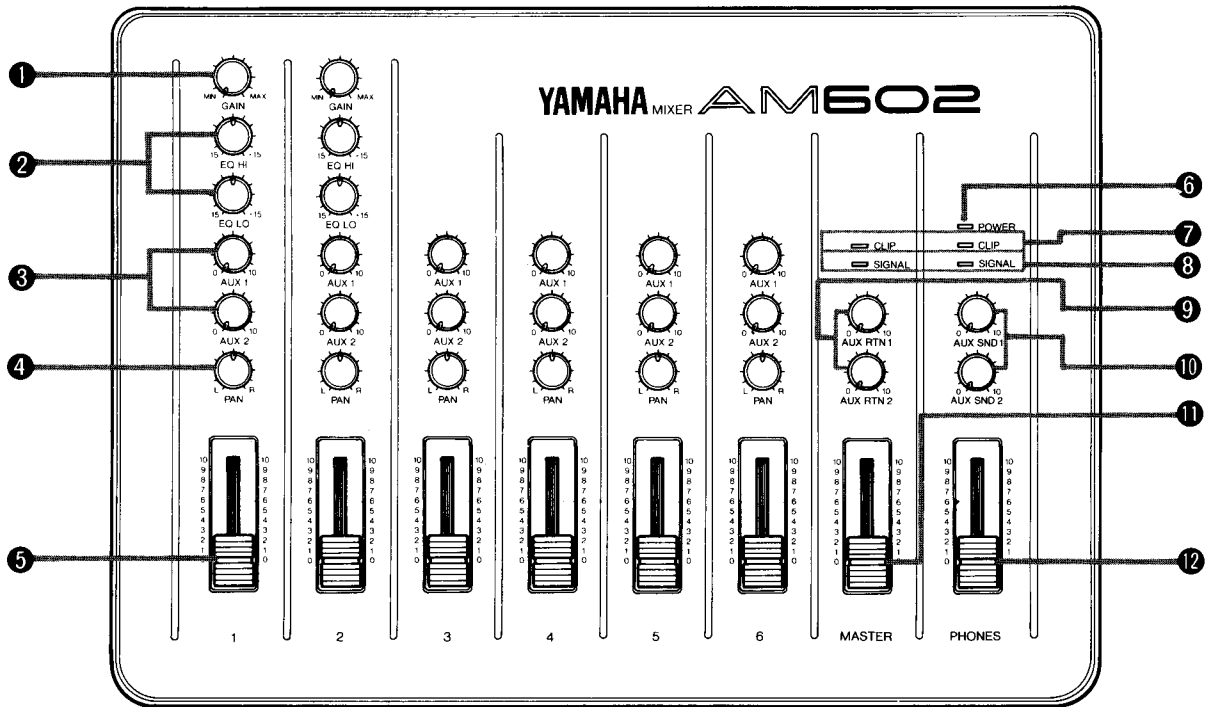
## 保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# 各部の機能と名称

## コントロールパネル

※各チャンネル共、①～⑤の機能は共通です。



### ① GAINコントロール(チャンネル1, 2)

INPUTジャックからの入力信号が最適レベルになるよう、入力感度を調整するつまみです。

※リアパネルのMIC/LINEインプットセレクター⑭がLINE側でGAINコントロールの目盛りMINの時、チャンネル3～6の入力レベルと同等のゲインとなります。

#### ● GAINコントロールの使い方

GAINコントロールを時計方向に回して、CLIPインジケータを頻繁に点灯させると歪んだ音になり、GAINコントロールを絞りすぎてもノイズの多い音になってしまいます。

### ② EQ(イコライザー)コントロール

音質をコントロールするつまみです。

耳ざわりな高域や、低域のかぶりなどを補正するときにも使います。

#### ● HI(ハイ・イコライザー)

10kHzを基準とした高域の音質を、±15dBの範囲でブースト(強調)、またはカット(減衰)することができます。目盛りセンターの位置でフラットな特性となります。

#### ● LO(ロー・イコライザー)

100Hzを基準とした低域の音質を、±15dBの範囲でブースト(強調)、またはカット(減衰)することができます。目盛りセンターの位置でフラットな特性となります。

### ③ AUXコントロール1, 2

チャンネルフェーダー⑤と、イコライザーコントロール②で調整された信号を、このつまみでレベル調整しAUX SENDバス1, 2へ送り出します。AUX SENDバスへ送られた信号は、AUX SNDジャック1, 2から外部エフェクター(リバーブ、ディレイなど)に送り出されます。

### ④ PAN(パンポット)コントロール

ステレオのL(左)チャンネルとR(右)チャンネルのバランス(定位)を設定します。各楽器の音像をL, R間のどあたりに定位させるかを定めることができ、つまみをL側に回すと音像が左へ、R側に回すと音像が右へ移動します。目盛りセンターの位置でL, R等しい信号となります。

### ⑤チャンネルフェーダー

各チャンネルの入力レベルを調整します。他のチャンネルとミキシングする場合には、このつまみが楽器間のレベルバランスを決めるつまみになります。フェーダー目盛り7付近に設定すると、ノイズや歪みが最も少ないレベルが得られます。

### ⑥POWERインジケータ

リアパネルのPOWERスイッチを、ONにすると点灯します。

### ⑦CLIPインジケータ

ST OUTジャックへ送り出される、出力信号のクリッピングレベルを検出するインジケータです。出力信号がクリップする3dB手前で点灯し、クリッピングレベルに近づいたことを警告します。

左側のインジケータがLチャンネル用、右側のインジケータがRチャンネル用です。

### ⑧SIGNALインジケータ

ST OUTジャックへ送り出される、出力信号を表示します。このインジケータが点灯するようにMASTERフェーダー⑪をセットすると、ノイズや歪みの最も少ない出力が得られます。

### ⑨AUX RTNコントロール1,2

AUX RTN 1,2の各ジャックで受けたエフェクターや、サブミキサーからの入力レベルを調整し、ST OUTへ送られる信号にミックスさせるつまみです。生音に対するエフェクト音のレベルをこのつまみで決めてください。

### ⑩AUX SNDコントロール1,2

各チャンネルのAUXコントロール1,2④で設定されたAUX SENDバスからの信号を、全体的にレベル調整し、AUX SNDジャック1,2に接続したエフェクター等に送り出します。

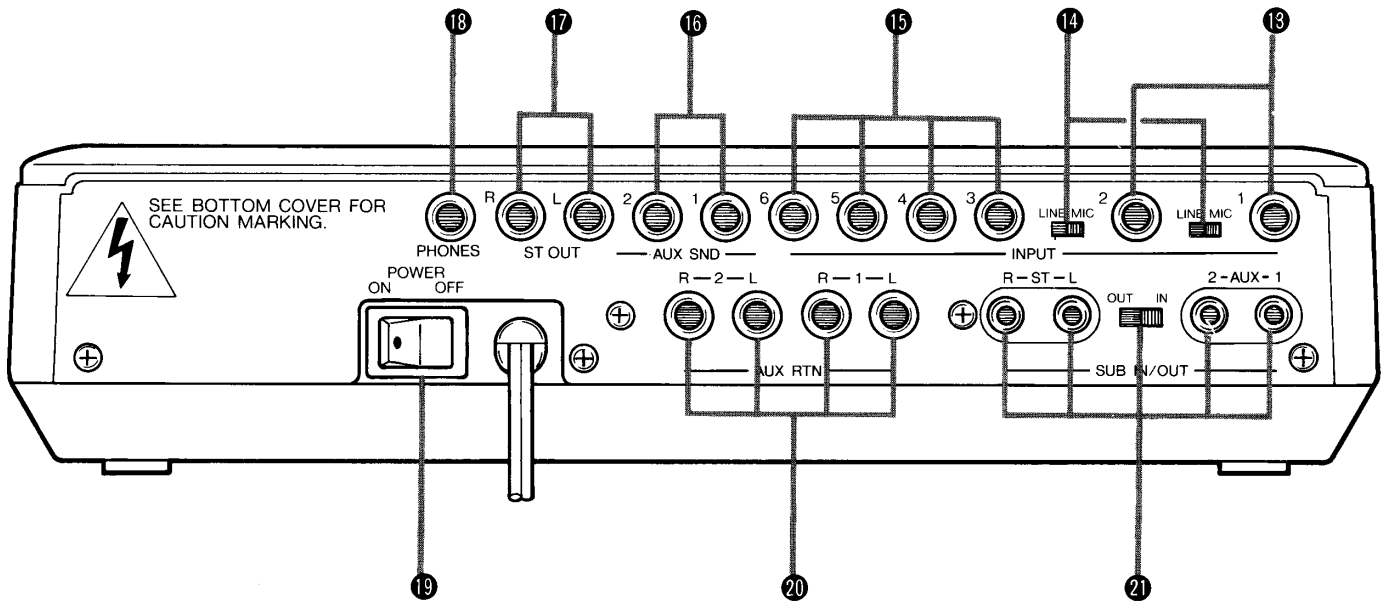
### ⑪MASTERフェーダー

チャンネルフェーダー⑤とAUX RTNコントロール1,2⑨により、ミックスされたステレオ信号を、このつまみで最終的にレベル調整します。

### ⑫PHONESコントロール

リアパネルのPHONESジャックに接続したステレオヘッドフォンの音量を調整します。

## リアパネル



### ⑬ INPUTジャック1, 2

インピーダンス50~600Ωのマイクロフォン、または600Ωラインの入力に対応し、電気(電子)楽器等を接続します。標準フォーンプラグが適合します。

### ⑭ MIC/LINEインプットセレクター(チャンネル1, 2)

INPUTジャック1, 2に接続する機器の出力レベルに応じてこのスイッチを切替えます。

MIC : マイクロフォンを接続した場合。

LINE : エレキギター、キーボード等を接続した場合。

### ⑮ INPUTジャック3~6

600Ωのライン入力に適合し、電気(電子)楽器等を接続します。標準フォーンプラグが適合します。

### ⑯ AUX SNDジャック1, 2

AUX SNDコントロール1, 2からの信号が出力します。エフェクター等の入力端子と接続します。標準フォーンプラグが適合します。

### ⑰ ST OUTジャック

MASTERフェーダーからの信号を出力します。

標準フォーンプラグが適合します。

### ⑱ PHONESジャック

8Ω~40Ωのヘッドフォンを接続します。

### ⑲ POWERスイッチ

電源スイッチです。電源をON, OFFするときは、チャンネルフェーダーやAUX RTNコントロール1, 2を0にしてください。

### ⑳ AUX RTNジャック1, 2

エフェクター等の出力端子と接続します。

標準フォーンプラグが適合します。

### ㉑ SUB IN/OUTジャック/スイッチ

AM602をもう一台接続して、12チャンネルのミキサーとして使用することができます。この場合、右ページ「SUB IN/OUTジャックの接続」のように接続し、サブミキサー側のSUB IN/OUTスイッチをOUTに、マスターミキサー側のSUB IN/OUTスイッチをINにセットします。MASTERフェーダーや、AUX SNDコントロールはマスターミキサー側で行ないます。

また、SUB IN/OUTスイッチをOUTにセットした場合、SUB IN/OUTのST L, Rジャックは、REC端子として使用することができます。

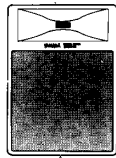
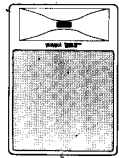
# 接続のしかた

(例)

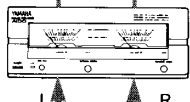
メインスピーカー

LCH

RCH



パワーアンプ

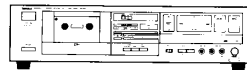


モニター  
スピーカー  
(アンプ内蔵)



マイクローホン、電気・電子楽器、一般のオーディオ機器等

再生用テープレコーダー



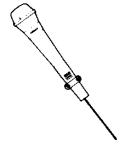
キーボード



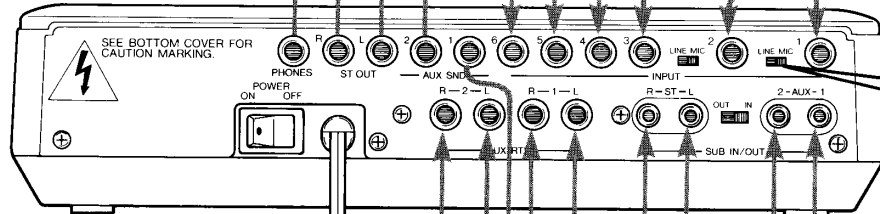
エレキ  
ギター



マイクローホン

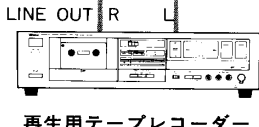


AM602

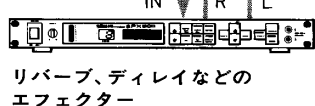


AC100V  
50/60Hz

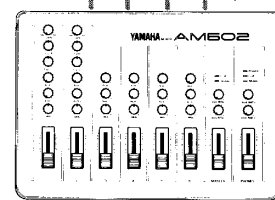
※マイクローホンを接続する場合  
1.CH1~CH2に接続します。  
2.INPUTセクターをMIC側にセ  
ットします。



再生用テープレコーダー



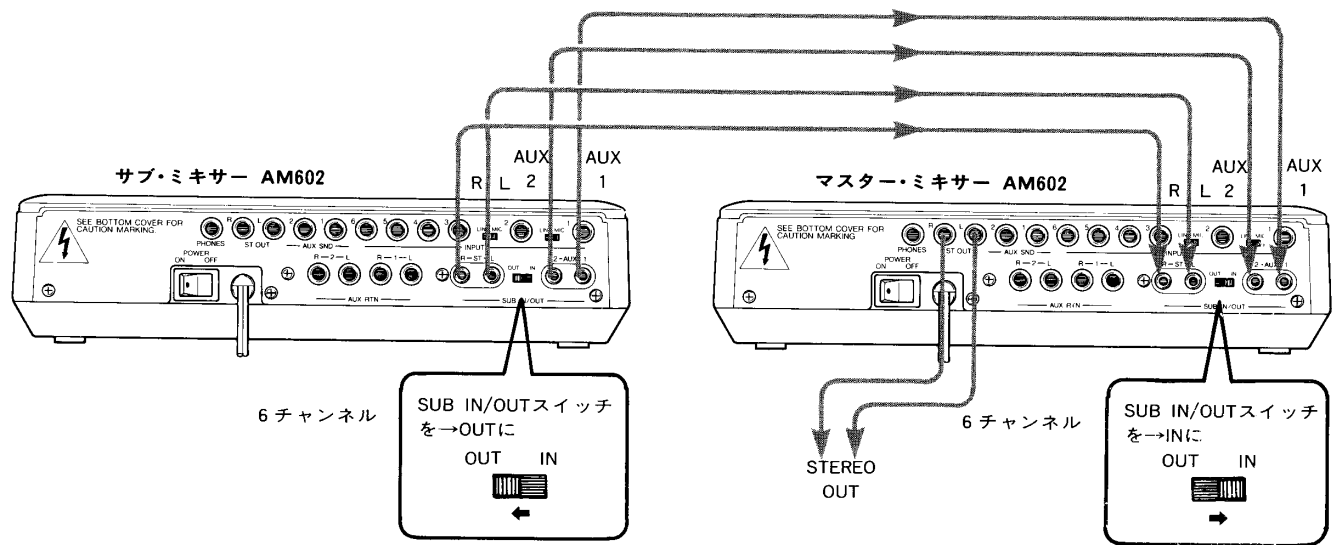
リバーブ、ディレイなどの  
エフェクター



サブミキサー

もう1台のAM602を  
チャンネル増設用サブ  
ミキサーとして使用する  
とき。(下図参照)

## ● SUB IN/OUTジャックの接続



# 仕様

## 周波数特性

ST OUT	20Hz~20kHz 0±½dB (@10kΩ, 0dB)
AUX SND 1, 2)	20Hz~20kHz 0±½dB (@10kΩ, -10dB)
SUB OUT	

全高調波歪率 0.05%以下 (20Hz~20kHz, @10kΩ, +10dB)

ハム&ノイズ\*(20Hz~20kHz, Rs=150Ω, CH 1, 2 GAIN:MAX)

入力換算ノイズ	-122dB(CH 1, 2)
残留ノイズ	-90dB(ST OUT)
ST OUT	-76dB(76dB S/N)(MASTERフェーダー→ノミナル、全チャンネルフェーダー→最小) -72dB(72dB S/N)(MASTERフェーダー→ノミナル、チャンネル1, 2フェーダー→ノミナル)
AUX SND	-88dB(78dB S/N)(全CHAUXコントロール→最小) -82dB(72dB S/N)(チャンネル1, 2フェーダー→ノミナル、AUXコントロール→ノミナル)

最大出力レベル +17.5dB (@10kΩ, THD 0.2%, 20Hz~20kHz)

## 最大電圧利得

CH1, 2 INPUT→ST OUT	62dB
CH3~6 INPUT→ST OUT	22dB
AUX RTN→ST OUT	32dB
CH1, 2 INPUT→AUX SND	58dB
CH3~6 INPUT→AUX SND	18dB
SUB IN(ST)→ST OUT	16dB
SUB IN(AUX)→AUX SND	6dB

## クロストーク(1kHz)

入力CH間	-60dB以下
入力CH→ST OUT間	-60dB以下

## イコライザー特性(CH1, 2)

HI(10kHz シェルビング)±15dB
LO(100Hz シェルビング)±15dB

## SIGNALインジケータ

ST OUT L, R(緑) 信号が-10dB以上(ノミナルレベルの10dB手前)で点灯

## CLIPインジケータ

ST L, R(赤) クリッピングレベルの3dB手前で点灯

電源 AC100V, 50/60Hz

消費電力 8W

外形寸法(W×H×D) 318×86×228mm

重量 1.8kg

\* @12.7kHz, -6dB/outのLPFにて補正

● 0dB=0.775Vr.m.s.

● ノミナルは最大レベルの6dB手前

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■入力仕様

入力端子	インプットセレクター	ゲイン設定	入力インピーダンス	ソースインピーダンス	感度** (最大ゲイン)	入力レベル		使用コネクタ
						規定レベル	最大ノンクリップレベル	
CH INPUT (CH 1, 2)	MIC	MAX	10kΩ	50~600Ωマイク & 600Ωライン	-62dB(0.62mV)	-50dB(2.5mV)	-28dB(31mV)	フォーンジャック
		MIN			-37dB(11mV)	-25dB(44mV)	-3dB(549mV)	
	LINE	MAX			-43dB(5.5mV)	-31dB(22mV)	-9dB(275mV)	
		MIN			-22dB(62mV)	-10dB(245mV)	+12dB(3.1V)	
CH INPUT(CH3~CH6)	---	---	10kΩ	600Ωライン	-22dB(62mV)	-10dB(245mV)	---	フォーンジャック
AUX RTN1, 2(L, R)	---	---	10kΩ	600Ωライン	-32dB(19mV)	-20dB(78mV)	---	フォーンジャック
SUB IN	---	---	10kΩ	600Ωライン	-16dB(123mV)	-10dB(245mV)	---	ピンジャック

## ■出力仕様

出力端子	出力インピーダンス	負荷インピーダンス	出力レベル		使用コネクタ
			規定レベル	最大ノンクリップレベル	
ST OUT(L, R)	600Ω	10kΩライン	0dB(775mV)	+17.5dB(5.8V)	フォーンジャック
AUX SND 1, 2	600Ω	10kΩライン	-10dB(245mV)	+17.5dB(5.8V)	フォーンジャック
PHONES	100Ω	8Ωヘッドフォン	-22dB(62mV)	-4.5dB(462mV)	ステレオフォーンジャック
SUB OUT	600Ω	10kΩライン	-10dB(245mV)	+17.5dB(5.8V)	ピンジャック

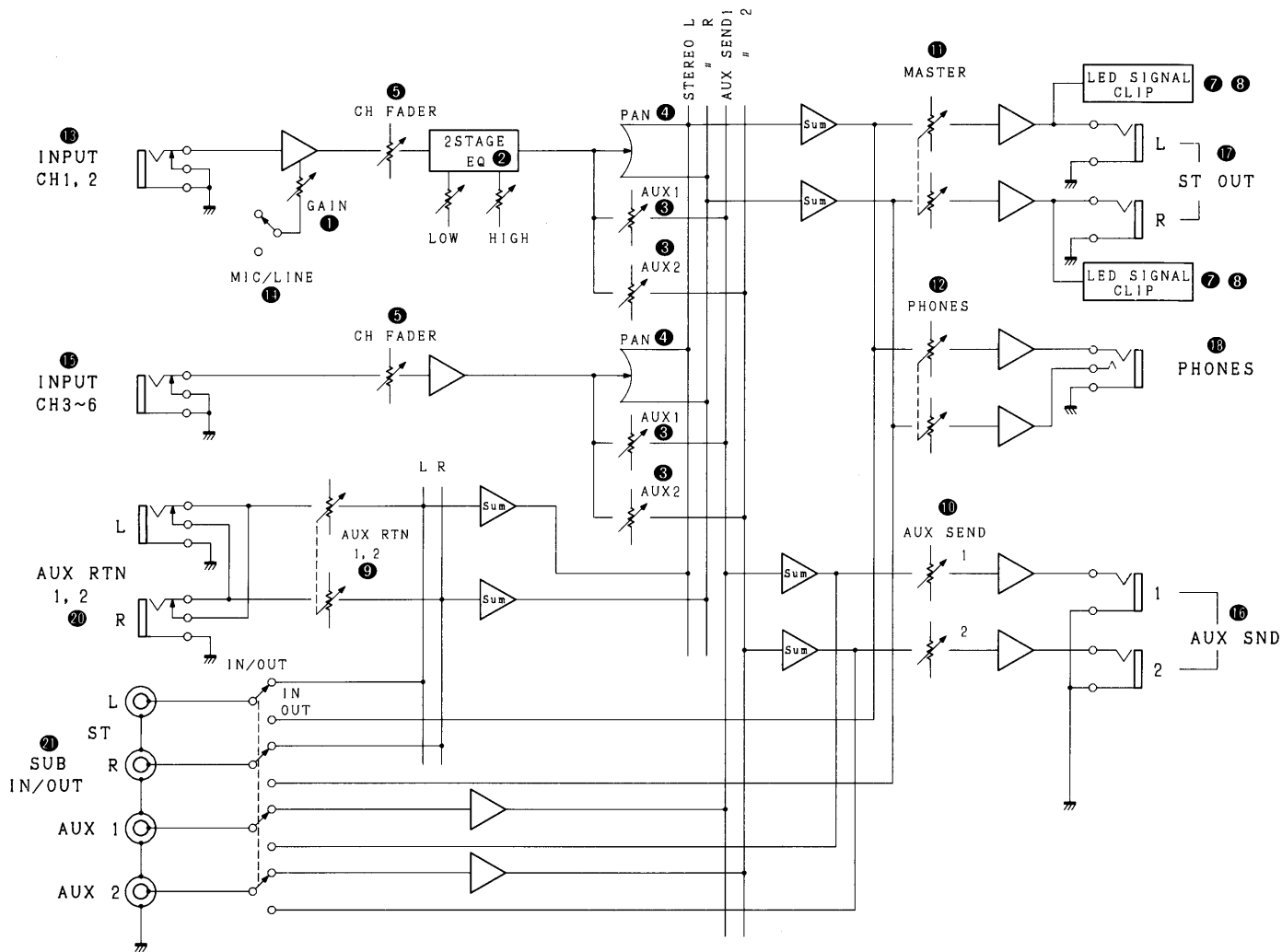
\*\*感度は、規定の出力レベル(0dB=0.775V)を得るために必要な最低入力レベルです。

● 0dB=0.775Vr.m.s.

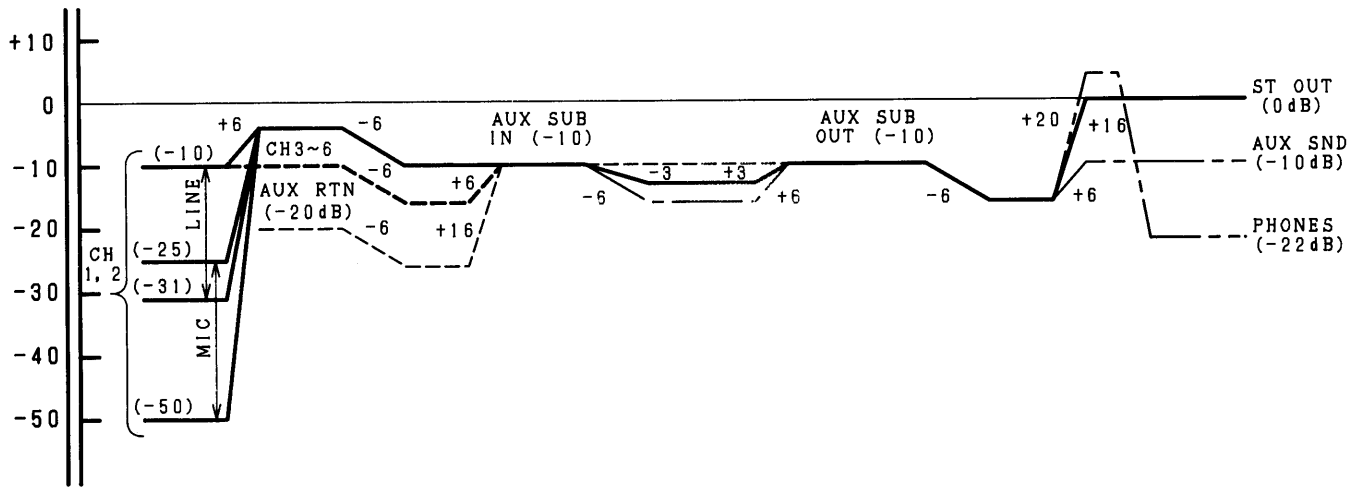
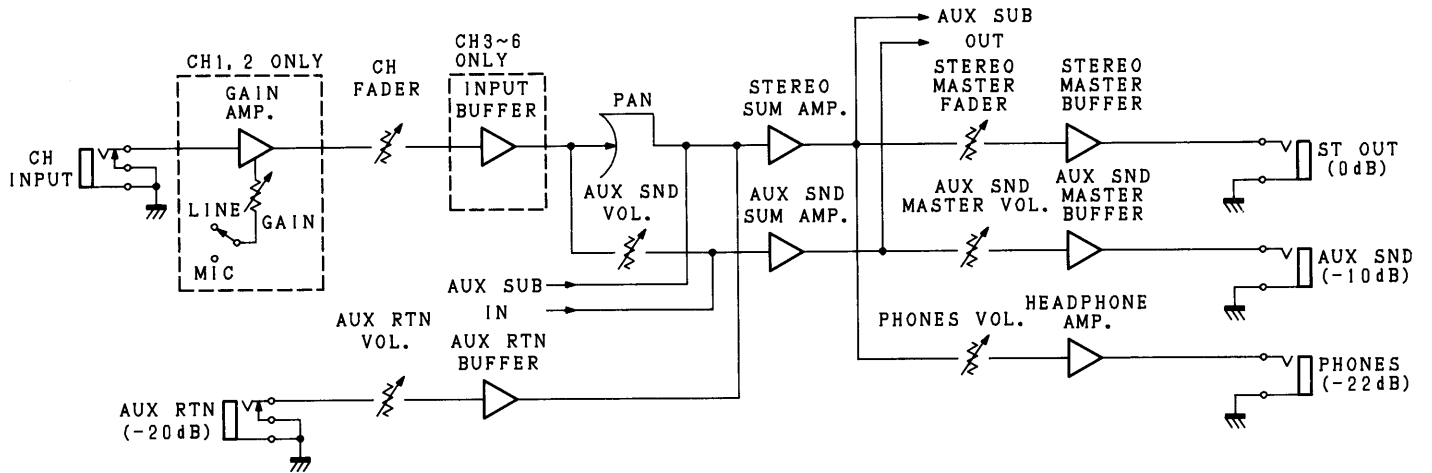
● 入出力は、全て不平衡(アンバランス)です。



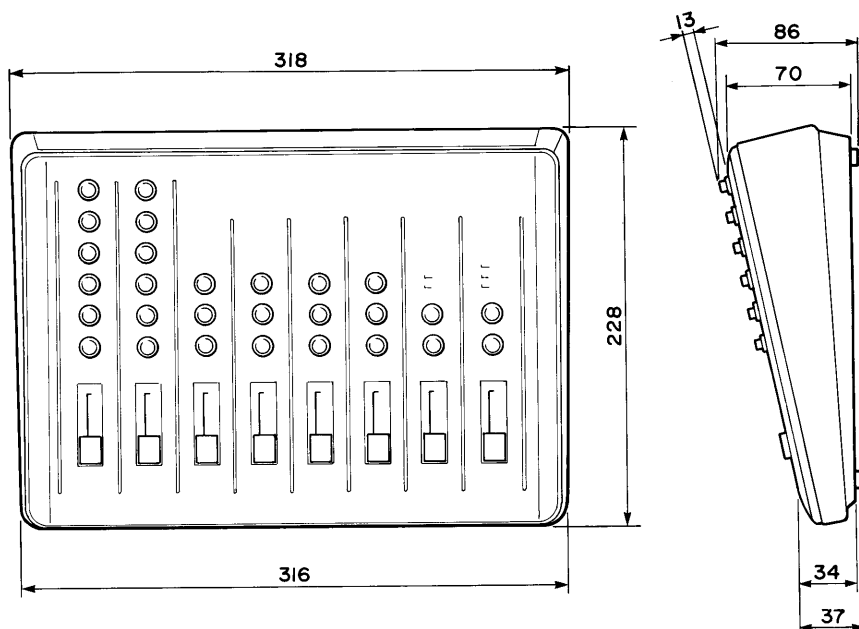
# ブロックダイアグラム



# レベルダイアグラム



# 寸法図



単位: mm

# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年で  
す。(現金、ローン、月賦などによる区別はございませ  
ん。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お  
名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。  
無記名の場合は無効になりますので、くれぐ  
れもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに  
ご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束  
申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期  
間中であっても実費を頂戴させていただくことになり  
ます。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけ  
ますように充分ご配慮のうえで保管してください。ま  
た、保証期間が切れましてもお捨てにならないでくだ  
さい。後々のサービスに際しての機種判別や、サー  
ビス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店に  
ご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。こ  
の際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合に  
はサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買上げ  
店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あ  
るいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先  
におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、  
引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよ  
う手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料とな  
りますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。  
なお、補修用性能部品の保有期間は最低  
8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能を  
維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマ  
ハサービス網までお問い合わせください。

## ■ YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

- 北海道電音サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50(ヤマハセンター内)  
TEL (011) 781-3621
- 仙台電音サービスセンター 〒983 仙台市若林区卸町5-7(仙台共同配送センター3F)  
TEL (022) 236-0249
- 東京電音サービスセンター 〒211 川崎市中原区本木1184  
TEL (044) 434-3100
- 新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8(シルバークールビル2F)  
TEL (025) 243-4321
- 浜松電音サービスセンター 〒435 浜松市上西町911(ヤマハ/機宮竹工場内)  
TEL (0534) 65-6711
- 名古屋電音サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ/機名古屋センター)  
TEL (052) 652-2230
- 大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)  
TEL (06) 877-5262
- 京都電音サービスステーション 〒600 京都市下京区七条通南之町東入材木町483(第2スマイルビル3F)  
TEL (075) 361-6470
- 神戸電音サービスステーション 〒650 神戸市中央区元町2-7-3(ヤマハ/機神戸店内)  
TEL (078) 321-1195
- 四国電音サービスステーション 〒760 高松市丸龜町8-7(ヤマハ/機高松店内)  
TEL (0878) 22-3045
- 広島電音サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39  
TEL (082) 874-3787
- 九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2134
- 本  
社  
電  
音  
サ  
ー  
ビ  
ス  
部 〒435 浜松市上西町911  
TEL (0534) 65-1158

## ヤマハ株式会社音響システム事業部

- 音響システム事業部 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL (0534) 60-2493
- 東京営業所 〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル)  
TEL (03) 574-8592
- 大阪営業所 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋ブラザビル東館)  
TEL (06) 252-5231
- 名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201-5199

## ヤマハ株式会社楽器営業部

- 北海道支店・LM営業課 〒064 札幌市中央区南十条西1-1(ヤマハセンター)  
TEL (011) 512-6113
- 仙台支店・LM営業課 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10  
TEL (022) 222-6146
- 東京支店・LM営業課 〒104 東京都中央区銀座7-11-3(矢島ビル)  
TEL (03) 574-8592
- 名古屋支店・LM営業課 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201-5199
- 大阪支店・LM営業課 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋ブラザビル東館)  
TEL (06) 252-5231
- 広島支店・LM営業課 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18(ヤマハビル)  
TEL (082) 244-3749
- 九州支店・LM営業課 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2130
- 本  
社  
・  
L  
M  
営  
業  
部 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL (0534) 60-2431

\*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**